

## 2011年度校友アンケート集計結果報告

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

ご協力いただいた皆様にお礼を申し上げますとともに、ここに集計結果をお知らせします。

結果は、以下の通りです。

1. アンケート回答者の概要
2. 集計表
3. グラフ

### 1. アンケート回答者の概要

このアンケートは、校友会に対する皆様のニーズと活動の現状を把握し、活動内容の向上を図るための情報収集を目的に行いました。アンケート協力の依頼は、2012年3月12日発行のSANNOPATIO Vol.78に同封と自由が丘産能短期大学校友会ホームページに掲載の二通りでした。締切日は2012年4月28日でしたが、その後6月4日までに事務局に到着した回答も集計しました。最終的な回収数は321、有効回答は320でした。

回答されたデータは、全体と支部加入の有無によって集計しました。

#### <回答者について>

回答者を男女別にみると、男性が約3分の2の215名、女性が3分の1の105名でした。その内支部加入者は、男女合わせて161名、加入したことのある人は50名、加入したことのない人は103名でした。支部加入者における女性回答者の割合は約20%でしたが、加入したことのない女性は約53%で、男性より多くなっていました。回答者の卒業過程は、支部加入の有無に関わらず通信教育課程卒業生が約4分の3を占めていました。

回答者を年代別にみると、支部加入者は60代が最多で36%、次は70代以上29.8%、50代が19.3%と続いていました。一方支部へ加入したことのない人は、最多が40代の35.6%、続いて60代の17.3%、30代の15.4%でした。

卒業から指定日(4/1)までの経過年数をみると、支部に加入していない群では卒業から10年未満の合計が、39.8%の41名と高くなっていました。

#### <支部加入の理由について>

支部加入者群の加入理由は、トップが「友人・知人に会える」18.3%、次は「知り合いができる」15.6%で、「母校への恩返し」は11.2%でした。支部に加入していない群の「仕事や仕事以外で多忙」理由により加入していない人は、合計で約30%で、「友人・知人がいない」理由だけで29.4%、「魅力を感じない」は、12.6%でした。

#### <参加したい活動について>

支部加入群は1位「講演会」22.2%、2位「勉強会」17.6%、3位「飲み会」12.7%、未加入群は1位「講演会」18.7%、2位「趣味の会」16.6%、3位「産能祭などの学校行事」15.7%でした。

<校友会活動を通じてよかったことについて>

全体で1位「飲み会」25%、2位「趣味の会」21.9%、3位「ファミリー参加行事」18.8%でした。

<校友会活動の参加優先順位について>

この回答は何を基準に活動に参加するのかを回答してもらい、優先順位を決めるため重みづけを行って集計しました。支部加入者群・未加入者群とも決定要素は「開催日」「活動内容自体」「開催場所」と同じですが、支部加入者が最優先するのは「開催日」で、未加入者は「活動内容自体」を僅差ですが最優先としていました。

## 2. アンケートから読み取れること

今回のアンケートの回収は、校友会員総数 55,392 名（2012 年 5 月現在）に対して、有効回答は 320 ですから、これをもって校友全体の傾向や意向を読み取ることはできません。しかし、支部未加入者の回答が 3 分の 1 で、とくに女性回答割合が高いことから、校友会への興味・関心が高く、新会員獲得の参考になるデータであると判断できます。

支部に加入しない最大の理由は、「友人・知人が支部にいない」からで、友人と一緒にであれば加入し共に参加する可能性も出てくるのではないのでしょうか。今までの活動内容に固執せず、ファミリーで参加できるイベントや趣味の会など様々な企画をしてはどうでしょうか。また、総会などの定例行事の場合も、開催場所や日時を変えてみることを試すのも意味があるのではないのでしょうか。

## 3. 最後に

校友のニーズや現状を客観的なデータとして把握するため、可能であればこれからも随時アンケートを行っていきたいと考えています。より多くの校友が参加したいと思い、実際に参加し、楽しめる。そのような校友会活動をめざして、さらに活動してまいります。

2012 年 8 月 9 日

会長 田口淳子